



国際ロータリー第2780地区 第6グループ

厚木中ロータリークラブ 週報

2012-2013 第1697回3月6日号

会長：藤川孝幸 幹事：加藤元英

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2F 例会場：レンブラントホテル厚木
TEL 046-222-5811 FAX 046-222-5821

◇1697回 例会◇

《友の紹介》

by 山崎隆夫会員

《 会長 報告 》

- ガバナー事務所より
 - ・ 財団ニュース 2月号
 - ・ インターアクト台北 (D3480) さよならパーティーのご案内
- 2013年3月24日(日)16時~18時
場 所 レンブラントホテル厚木
費 用 ロータリアン 5,000円
インターアクト 無料



《 幹 事 報 告 》

- 例会変更
 - ・ 寒川RC
- 3月18日(月)→休会 (クラブ定款による)
4月1日(月)→3月31日(日) 12:30点鐘
花見家族移動例会「隅田川舟下り」 に振替

《卒業おめでとう》 厚木商業IAC



《 ウェルカム握手 》



ゲスト 林正博様

◆ ◇おめでとうございます!! ◇◆



柴田淳之助会員 喜寿のお祝い

藤山拓人君、福岡翼君、岩山優希君、浅見篤史君
藤山君は「インターアクトクラブに参加して、自分はまだまだ知らないことがたくさんあるということを知りました。募金活動がとても印象に残っています。ボランティアはしてあげるのではなく、させてもらっているのだと感じました。これからは、学んだことを伝えていきたいと思います。ありがとうございます」と話しました。(4月に神奈川大学法学に入学予定)。また「周りの人に喜んでもらえるようなことが出来てよかったです。これから看護師をめざし勉強します。ボクシングもがんばり、看護師ボクサーをめざします」と福岡君。「人の役に立てる活動ができてよかったです。将来は公認会計士・税理士をめざします」と岩山優希君。「インターアクトに参加してよかったです。今後は看護学校で一生懸命勉強します。ありがとうございました」と浅見君がしっかりと口調で話しました。
4人には卒業祝い記念品が藤川会長から手渡されました。



ロータリークラブの雰囲気にもずいぶん慣れましたネ。



藤山拓人君、最後の点鐘です。藤・藤コンビ。



「IAC親子(?)」の1ショット

∞∞ ス マ イ ル ∞∞

【藤川会長・和田副会長・中野会長エレクト・加藤幹事・小島副幹事】…インターアクトの卒業生の4名の方々、ようこそいらっしゃいました。今後共3年間のロータリークラブとの関係を大切にして立派な社会人になって下さい。ようやく春の訪れを感じる時期となりました。会員皆様のご健勝を祈念いたします。林先生、ゆっくりお過ごしください。

【中野会長エレクト】…①林正博さま、本日はようこそ厚木中ロータリークラブの例会にお越しく下さいました。ゆっくりして下さい。ご入会をお待ちしています。インターアクトの皆さん、ようこそ！

②2013-14年度の会長方針と会務分担表を配布させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。また、次年度理事・役員の皆様、3月4日には貴重なご意見を賜りありがとうございました。

【飯田久夫会員・佐々木尚壽会員・笹生誠会員】…インターアクトの皆様ようこそ。当クラブの例会を楽しみ、又、何かしらを学んでください。

【朝倉弘一会員】…山崎さん、先日のIM時の写真ありがとうございました。

【西村弘司会員】…厚木商業インターアクトクラブ3年生の皆さん、ようこそお出で下さいました。次は学友会ですか？それともローターアクトですか？ 今後がんばって下さい。

【明石 衛会員】…大変申し訳ありませんが、本日早退させていただきます。

【柴田淳之助会員】…理事会のため早退します。ご理解下さい。

【笹生正人会員】…林先生、お越しいただきましてありがとうございます。よろしくお願ひします。



《記念の一葉》



明石衛会員と藤代真理子会員



※ 3月20日(祝)は休会です。

2月最後の日、「公共イメージ」についての地区セミナーに中野会長エレクトと出席しました。公共イメージをアップさせるために、まず会員はいつもバッジを着用しましょうということでした。(簡単にできそうですね) またメディアなどを大いに活用して広く“ロータリー”を知ってもらえるよう、奉仕活動などを積極的に行いましょう、奉仕活動をする時のためのベストも用意している、とのことでした。「ロータリーとは？」の問いに、わかりやすい言葉でロータリーが説明されている小冊子があることも知りました。(早速、注文していただきましょう) また、地区は広報賞なるものまで作り、競って公共イメージのアップを図ろうとしています。…私たち、厚木中クラブは、賞に躍らされることなく、キッチリと誇りを胸に、地に足を着け、ロータリーらしい活動をしたいものだと思います。それには、やはり原点をみつめての研鑽は必要であるとも感じた次第です。(や)

